

第64期 決算のご報告

2019年4月1日から 2020年3月31日まで

エスケー化研株式会社

株主の皆様へ

株主の皆様には、平素は格別のご高配を賜り、有難く厚くお礼申し上げます。また、新型コロナウイルス感染症に罹患された皆様及び関係者の皆様に、心からお見舞い申し上げますとともに、医療従事者をはじめ感染防止にご尽力いただいている皆様に、深く感謝を申し上げます。

第64期決算のご報告に際しまして、ご挨拶を申し上げます。

当決算期における経済環境は、雇用情勢や所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。2019年秋以降の消費税率引き上げに伴う個人消費への影響や台風等の自然災害、年明けには新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いておりました。

このような環境下、当社グループは、常に、「無から有」をモットーに、「省力化」「快適」「健康安全」「安心」「環境性向上」「資産価値の向上」をキーワードとして、国内外において総合建築塗材・新型化学建材の分野を拡大しながら、技術革新に挑み、新技術・新製品及び新市場の開発に取り組んでまいりました。

当連結会計年度の業績におきましては、売上面では技術革新による各種製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や環境問題に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆・断熱材等の拡販に努め、前期比1.0%増となりました。利益面では高付加価値製品の販売拡大に努め、経費削減を行いました。為替変動の影響により経常利益が前期比5.9%減となりました。

次年度は、世界経済が、新型コロナウイルス感染症の影響により、更に下振れするリスクがあります。また、わが国の経済も、この影響により、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。こうした経済情勢の中、当社におきましては、首都圏・都市部を中心とした再開の需要が見込まれますが、同感染症拡大による企業活動の停滞、建設現場における休工処置等による製品納入の遅れ、原料調達の遅延等のリスクが高まる等、事業環境は厳しい状況が継続するものと思われ。中国及びアジアの海外子会社においても、各国の移動制限令等により販売促進が困難な状況です。その中で全社員一丸となって業績向上に努力邁進してまいります。

そして、更なる社内組織体制と国内外拠点の充実を図り、オンリーワン・ナンバーワン企業としての躍進を目指し、グローバルな総合化学塗材・建材メーカーとして、今後より一層のハイレベルな技術開発力で、日本及びアジアの国々の建築文化の創造に貢献し、大きく国内外に飛躍してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも深いご理解と、なお一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

2020年6月

代表取締役社長

藤井 実広



省力化

快適

健康安全

安心

環境性向上

資産価値の向上

建築用総合塗材国内シェアNo.1

※2019年NSK日本建築仕上材工業会調べ



企業集団の事業の経過及び成果

当連結会計年度におけるわが国経済は、雇用情勢や所得環境の改善が続くなか、緩やかな回復基調で推移いたしました。2019年秋以降の消費税率引き上げに伴う個人消費への影響や台風等の自然災害、年明けからの新型コロナウイルス感染症の影響により、景気の先行きは不透明な状況が続いております。

建築塗料業界におきましては、首都圏・都市部を中心とした大規模再開発の需要が一定の水準で継続しておりますが、働き方改革への対応や、慢性的な人材不足による現場技術者及び現場作業員の確保と育成が大きな課題であり、建築費・人件費の高騰等厳しい市場環境が続いております。

このような状況の下、当社グループは、引き続き、新築市場だけではなく膨大なストックを有するリニューアル市場において、当社の技術革新による製品、超耐久・超低汚染塗料、都市グリーン化推進や地球温暖化現象に対応した省エネタイプの遮熱塗料、新型省力化建材、オリジナルの高意匠性塗材や耐火被覆材・断熱材等の拡販に努めてまいりました。

この結果、当連結会計年度の業績といたしましては、売上高は、960億28百万円(前年同期比1.0%増)となりました。利益面におきましては、経費削減を行いました。営業利益は、112億36百万円(同1.9%減)、経常利益は、為替変動の影響等により109億64百万円(同5.9%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は、75億44百万円(同3.0%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

① 建築仕上塗料事業

建築仕上塗料事業におきましては、新築需要が減少いたしました。リニューアル市場においては超耐久性塗料や超低汚染機能で差別化された省エネタイプの遮熱塗料等の販売を行なった事により、売上高は860億21百万円(同0.2%増)と前連結会計年度に比べて1億91百万円の増収となりました。セグメント利益は123億38百万円(同3.4%減)と前連結会計年度に比べて4億31百万円の減益となりました。

② 耐火断熱材事業

耐火断熱材事業におきましては、首都圏、都市部の再開発事業における受注が拡大しており、売上高は81億50百万円(同11.2%増)と前連結会計年度に比べて8億17百万円の増収となりました。セグメント利益は、8億94百万円(同12.7%増)と前連結会計年度に比べて1億円の増益となりました。

③ その他の事業

その他の事業におきましては、売上高は18億55百万円(同2.6%減)と前連結会計年度に比べて50百万円の減収となりました。セグメント利益は1億76百万円(同42.0%増)と前連結会計年度に比べて52百万円の増益となりました。

企業集団が対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、世界経済が、新型コロナウイルス感染症の影響により、景気が更に下振れするリスクがあります。また、わが国の経済も、この影響により、極めて厳しい状況が続くと見込まれます。

こうした経済情勢の中、建築塗料業界におきましては、首都圏・都市部を中心とした再開発の需要が見込まれますが、同感染症拡大による企業活動の停滞、工事中断や延期、資材調達の遅延等のリスクが高まる等、事業環境は厳しい状況が継続するものと思われれます。

その中で当社においては、取引先への営業活動の制限や、建設現場における休工措置等による製品納入の遅れが発生しており、再開の見通しは現状では予測不能な状況です。

中国及びアジアの海外子会社においては、各国の移動制限令等により、現状及び将来の販売促進や見直しに対する情報収集が困難な状況です。

このような状況下ではありますが、当社グループは、常に、「無から有」をモットーに、「省力化」「快適」「健康安全」「安心」「環境性向上」「資産価値の向上」をキーワードとして、需要開発に努めると共に、「多くの顧客に利益と喜びを与え、社会に貢献することを最大の使命」とする経営理念や社是・社訓に基づいた事業活動を進めております。そして、コーポレートガバナンス体制を重視した社内組織体制の一層の充実を図り、より一段と国内外の新市場の開発に尽力し、持続可能な新技術革新、新製品の開発を通じて会社業績向上に努めてまいります。

売上高



総資産



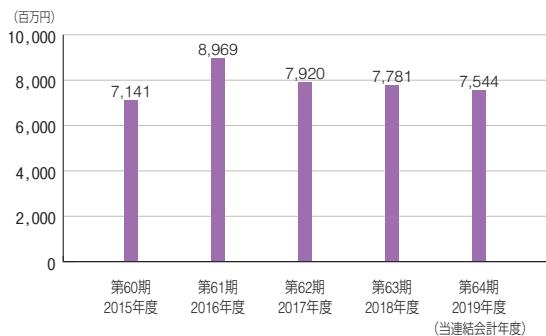
経常利益



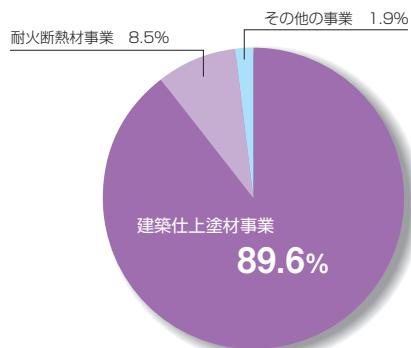
純資産



当期純利益



事業区分別売上高構成比



連結貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
(資産の部)		
流動資産	115,599	121,696
現金及び預金	86,971	95,407
受取手形及び売掛金	20,766	18,644
商品及び製品	1,971	1,959
仕掛品	1,000	1,023
未成工事支出金	318	286
原材料及び貯蔵品	4,086	3,876
その他	558	547
貸倒引当金	△ 73	△ 48
固定資産	17,218	17,386
有形固定資産	12,282	12,751
建物及び構築物	3,803	3,465
機械装置及び運搬具	287	240
土地	8,089	8,263
建設仮勘定	35	18
その他	66	762
無形固定資産	857	792
投資その他の資産	4,078	3,842
投資有価証券	12	9
繰延税金資産	810	756
退職給付に係る資産	743	902
その他	2,654	2,335
貸倒引当金	△ 142	△ 161
資産合計	132,817	139,083

科 目	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当連結会計年度 (2020年3月31日)
(負債の部)		
流動負債	20,188	19,335
支払手形及び買掛金	5,940	6,180
短期借入金	3,064	3,097
未払金	6,018	5,118
未払法人税等	2,151	1,564
賞与引当金	1,500	1,509
役員賞与引当金	81	82
製品保証引当金	54	93
その他	1,378	1,690
固定負債	2,683	3,428
繰延税金負債	63	83
役員退職慰労引当金	1,157	1,182
退職給付に係る負債	142	144
その他	1,320	2,017
負債合計	22,872	22,764
(純資産の部)		
株主資本	109,567	116,165
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
利益剰余金	113,282	119,883
自己株式	△ 9,513	△ 9,517
その他の包括利益累計額	377	154
その他有価証券評価差額金	0	△ 1
為替換算調整勘定	397	179
退職給付に係る調整累計額	△ 20	△ 24
純資産合計	109,945	116,319
負債純資産合計	132,817	139,083

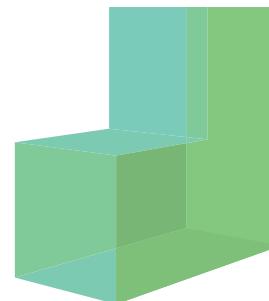
※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前連結会計年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで		当連結会計年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	
	売上高		95,069	
売上原価		66,606		67,475
売上総利益		28,462		28,553
販売費及び一般管理費		17,009		17,316
営業利益		11,453		11,236
営業外収益				
受取利息	418		516	
受取配当金	0		0	
為替差益	643		—	
その他	194	1,256	170	687
営業外費用				
支払利息	9		33	
減損損失	1,021		185	
為替差損	—		731	
その他	27	1,058	8	959
経常利益		11,650		10,964
税金等調整前当期純利益		11,650		10,964
法人税、住民税及び事業税	3,765		3,360	
法人税等調整額	102	3,868	59	3,419
当期純利益		7,781		7,544
非支配株主に帰属する当期純利益		—		—
親会社株主に帰属する当期純利益		7,781		7,544

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。



連結株主資本等変動計算書

当連結会計年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本					その他の包括利益累計額				純資産合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計	その他有価証券 評価差額金	為替換算 調整勘定	退職給付に係る 調整累計額	その他の包括利益 累計額合計	
当連結会計年度期首残高	2,662	3,137	113,282	△ 9,513	109,567	0	397	△ 20	377	109,945
当連結会計年度変動額										
剰余金の配当			△ 943		△ 943					△ 943
親会社株主に帰属する当期純利益			7,544		7,544					7,544
自己株式の取得				△ 3	△ 3					△ 3
株主資本以外の項目の当連結会計年度変動額（純額）						△ 1	△ 218	△ 3	△ 223	△ 223
当連結会計年度変動額合計	—	—	6,600	△ 3	6,597	△ 1	△ 218	△ 3	△ 223	6,373
当連結会計年度末残高	2,662	3,137	119,883	△ 9,517	116,165	△ 1	179	△ 24	154	116,319

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

貸借対照表

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)
(資産の部)		
流動資産	99,521	104,892
現金及び預金	75,378	82,372
受取手形	6,338	6,044
売掛金	12,563	10,584
商品及び製品	1,451	1,542
仕掛品	945	1,006
未成工事支出金	314	285
原材料及び貯蔵品	2,284	2,393
その他	485	516
貸倒引当金	△ 239	△ 213
固定資産	20,065	20,872
有形固定資産	10,860	10,848
建物	2,769	2,631
構築物	130	120
機械及び装置	180	171
車両運搬具	11	16
工具器具及び備品	45	41
土地	7,687	7,849
建設仮勘定	35	18
無形固定資産	134	115
ソフトウェア	117	99
その他	16	16
投資その他の資産	9,070	9,907
投資有価証券	11	9
関係会社株式	3,385	3,658
長期貸付金	2,253	2,164
繰延税金資産	1,762	1,905
差入保証金	937	897
その他	1,814	2,037
貸倒引当金	△ 362	△ 346
投資損失引当金	△ 732	△ 419
資産合計	119,587	125,764

科 目	前事業年度 (2019年3月31日現在)	当事業年度 (2020年3月31日現在)
(負債の部)		
流動負債	18,214	17,296
支払手形	1,402	1,426
買掛金	3,897	4,253
短期借入金	3,000	3,000
未払金	5,153	4,396
未払費用	553	561
未払法人税等	2,150	1,476
未払消費税等	336	469
賞与引当金	1,452	1,462
役員賞与引当金	81	82
製品保証引当金	39	81
その他	147	85
固定負債	2,525	2,684
預り保証金	1,313	1,426
退職給付引当金	54	75
役員退職慰労引当金	1,157	1,182
負債合計	20,740	19,980
(純資産の部)		
株主資本	98,846	105,785
資本金	2,662	2,662
資本剰余金	3,137	3,137
資本準備金	3,137	3,137
利益剰余金	102,560	109,503
利益準備金	455	455
その他利益剰余金	102,105	109,048
固定資産圧縮積立金	18	16
別途積立金	93,750	100,250
繰越利益剰余金	8,337	8,781
自己株式	△ 9,513	△ 9,517
評価・換算差額等	0	△ 1
その他有価証券評価差額金	0	△ 1
純資産合計	98,847	105,784
負債純資産合計	119,587	125,764

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

損益計算書

(単位：百万円)

科 目	前事業年度 2018年4月1日から 2019年3月31日まで		当事業年度 2019年4月1日から 2020年3月31日まで	
	売上高		82,398	
売上原価		58,004		58,805
売上総利益		24,393		24,547
販売費及び一般管理費		13,826		14,023
営業利益		10,567		10,524
営業外収益				
受取利息及び配当金	262		1,625	
為替差益	652		—	
その他	159	1,073	125	1,751
営業外費用				
支払利息	9		8	
為替差損	—		717	
投資損失引当金繰入額	534		244	
関係会社株式評価損	328		433	
その他	19	891	3	1,407
経常利益		10,749		10,868
税引前当期純利益		10,749		10,868
法人税、住民税及び事業税	3,515		3,124	
法人税等調整額	△ 189	3,325	△ 142	2,981
当期純利益		7,423		7,886

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

株主資本等変動計算書

当事業年度（2019年4月1日から2020年3月31日まで）

(単位：百万円)

	株主資本								評価・換算差額等			純資産 合計
	資本金	資本剰余金		利益剰余金				自己株式	株主資本 合計	その他有価証券 評価差額金	評価・換算 差額等合計	
		資本準備金	利益準備金	その他利益剰余金			利益剰余金 合計					
				固定資産 圧縮積立金	別途積立金	繰越利益 剰余金						
当 期 首 残 高	2,662	3,137	455	18	93,750	8,337	102,560	△ 9,513	98,846	0	0	98,847
当 期 変 動 額												
固定資産圧縮積立金の取崩				△ 1		1	—		—			—
別途積立金の積立					6,500	△ 6,500	—		—			—
剰余金の配当						△ 943	△ 943		△ 943			△ 943
当期純利益						7,886	7,886		7,886			7,886
自己株式の取得								△ 3	△ 3			△ 3
株主資本以外の項目の当期 変動額（純額）										△ 1	△ 1	△ 1
当 期 変 動 額 合 計	—	—	—	△ 1	6,500	444	6,942	△ 3	6,938	△ 1	△ 1	6,937
当 期 末 残 高	2,662	3,137	455	16	100,250	8,781	109,503	△ 9,517	105,785	△ 1	△ 1	105,784

※ 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

国内実績



The Okura Tokyo 東京都
セラタイカ2号、セラミライトエコG、SKタイカコート



福岡第二法務総合庁舎 福岡県
サンドエレガント、SKタイカシート
SKタイカコート



野庭団地第一住宅 神奈川県
水性クリーンタイトSi



静岡産業大学情報学部 静岡県
グラニクイーン、クリーンエレガントトップ艶消し



HOTEL CORDIA OSAKA 大阪府
ファインFR工法IN



岐阜医療科学大学可児キャンパス7号館 岐阜県
セラミライトエコG、セラタイカ2号
グラニクイーンレボ目調



静岡県庁舎東館 静岡県
セラミRC-FR工法



周南市新庁舎 山口県
サンドエレガント



GOOD NATURE HOTEL KYOTO
/GOOD NATURE STATION 京都府
サンドエレガント

物に採用され、それぞれの国の建築文化の向上に大きく貢献しています。

海外実績



Hyatt Regency, Bali インドネシア
エレガストーン



SCB-Julius Baer Securities タイ
ベルアート



Tripleone Somerset シンガポール
メタクイーン MX



Japanese Association school タイ
グラニクイーン



北京大興国際空港 中国
SKKタイカコート



上海虹橋国際展示場 (Portmix Shanghai) 中国
SKKエレガストーンII, SKKベルアートHT
SKKファインメタリック



成都中鉄麗島芸術シティ 中国
SKKグラノスターNEO



The Landmark 香港
グラニクイーン



Lee Kong Chian School Of
Medicine@Mandalay シンガポール
インターマツト

4 5 6 7 8 9

6月 ▼建築材料・住宅設備総合展「KENTEN2019」出展



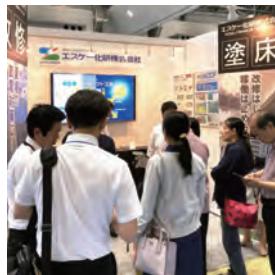
6～9月 ▼SKK新製品発表会2019



7月 ▼厚木営業所／移転



7月 ▼国際食品工業展「FOOMAJAPAN2019」出展



10 11 12 1 2 3

11月 ▼インテリアトレンドショー「JAPANTEX2019」出展



1月 ▼新春交礼会／東京・大阪・名古屋にて開催



【6月】
環境対応型水系剥離剤「ハクリタイトエコST」開発

【7月】
一液形水性反応硬化形エポキシ樹脂さび止め塗料「エスケースマートボーセイW」開発
水性特殊変性シリコン樹脂油脂軟化対策鉄部用塗料「エスケースマートシリコンW」開発

【8月】
広範囲適用型水性特殊エポキシ樹脂シーラー「水性ハイブリッドシーラー」開発
無機系着火防止材「SK防火コート」開発

会社概要 (2020年3月31日現在)

設 立	1958年4月17日
資 本 金	26億62百万円
連結純資産	1,163億19百万円
企業集団の 従業員数	2,163名 (臨時従業員を除く)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ● 建築仕上塗材事業 有機無機水系塗材、合成樹脂塗料、無機質系塗材、高級内装装飾材、高意匠性内外シート建材、無機質建材の製造販売及び特殊仕上工事の請負 ● 耐火断熱材事業 断熱材、耐火被覆材、耐火塗料の製造販売及び耐火断熱工事の請負 ● その他の事業 各種化成品の製造販売
------	--

■ 役員 (2020年6月29日現在)

代表取締役会長	藤 井 實	取締役	竹 内 正 博
代表取締役社長	藤 井 実 広	取締役	片 岡 秀 人
専務取締役	坂 本 雅 英	取締役	長 澤 啓 三
取締役	藤 井 訓 広	常勤監査役	本 竜 坦 道
取締役	福 岡 透	監査役	古 越 浩 二
取締役	伊 藤 義 之	監査役	濱 名 正 二

■ 主要な関係会社

SKK (S) PTELTD. (シンガポール)
 SKK (HK) CO.LTD.(香港)
 H.K.SHIKOKU CO.LTD.(香港)
 SIKOKUKAKEN(SHANGHAI)CO.LTD. (中国上海)
 SK KAKEN (M) SDN.BHD.(マレーシア)
 SKK CHEMICAL (M) SDN.BHD.(マレーシア)

SK COATINGS SDN.BHD.(マレーシア)
 SK KAKEN(THAILAND)CO.LTD.(タイ)
 SKK CHEMICAL (THAILAND)CO.LTD. (タイ)
 PT SKK KAKEN INDONESIA(インドネシア)
 PT SKK KAKEN KONSTRUKSI(インドネシア)
 PT SKK KAKEN DISTRIBUSI(インドネシア)



本社



SKKグローバルセンター



SIKOKUKAKEN(SHANGHAI)CO.LTD.



北京事務所/北京分公司



SKK (HK) CO.,LTD.



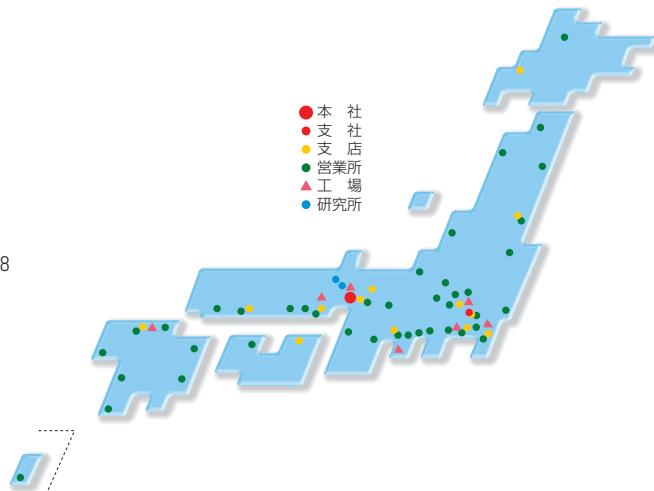
第一技術研究所



第二技術研究所

国内主要事業所 (2020年6月29日現在)

本事業本部	社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
国際事業本部	支社	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-25
東京支店	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
札幌支店	支店	〒065-0042	北海道札幌市東区本町二条10-2-39
仙台支店	支店	〒983-0013	宮城県仙台市宮城野区中野1-5-12
東京支店	支店	〒169-0075	東京都新宿区高田馬場1-31-18
千葉支店	支店	〒263-0003	千葉県千葉市稲毛区小深町122-1
埼玉支店	支店	〒337-0051	埼玉県さいたま市見沼区東大宮6-30-48
横浜支店	支店	〒244-0801	神奈川県横浜市戸塚区品濃町549-2
名古屋支店	支店	〒451-0044	愛知県名古屋市中区菊井2-14-19
京都支店	支店	〒612-8415	京都府京都市伏見区竹田中島町263
大阪支店	支店	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-5-31
神戸支店	支店	〒652-0807	兵庫県神戸市兵庫区浜崎通5-1
広島支店	支店	〒731-5161	広島県広島市佐伯区五日市港2-1-5
高松支店	支店	〒761-8073	香川県高松市太田下町2585-3
福岡支店	支店	〒813-0062	福岡県福岡市東区松島5-6-16
大根工場	工場	〒303-0044	茨城県常総市菅生町57-1
埼玉工場	工場	〒347-0017	埼玉県加須市南篠崎1-6
神奈川工場	工場	〒252-0012	神奈川県座間市広野台2-3-30
名古屋工場	工場	〒475-0032	愛知県半田市潮干町1-2
大阪工場	工場	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-5
兵庫工場	工場	〒679-0221	兵庫県加東市河高355-40
九州工場	工場	〒820-0609	福岡県嘉穂郡桂川町吉隈429-26
第一技術研究所	研究所	〒567-0059	大阪府茨木市清水1-25-10
第二技術研究所	研究所	〒567-0056	大阪府茨木市南清水町4-1
SKKグローバルセンター	センター	〒567-0034	大阪府茨木市中穂積3-12-2
他営業所全国51ヶ所			



九州工場



SKK (S) PTE.LTD.



大阪工場



SKK CHEMICAL (M) SDN. BHD.



SIKOKUKAKEN (SHANGHAI) CO.,LTD.



兵庫工場



SKK CHEMICAL (THAILAND) CO.,LTD.



大根工場



神奈川工場



埼玉工場



名古屋工場



PT SKK KAKEN INDONESIA



株主メモ

事業年度	4月1日～翌年3月31日
期末配当金受領株主 確定日	3月31日
定時株主総会	毎年6月
株主名簿管理人 特別口座の口座管理機関	三菱UFJ信託銀行株式会社
同連絡先	三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所	東京証券取引所JASDAQ (スタンダード)
公告方法	電子公告により、当社ホームページに掲載します。 なお、やむを得ない理由により電子公告ができない 場合は、日本経済新聞に掲載します。

(ご注意)

1. 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問合せください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
2. 特別口座に登録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問合せください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取次ぎいたします。
3. 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

<https://www.sk-kaken.co.jp/>